Y18a プラネタリウム 100 周年と研究者とのコラボレーション

井上 毅 (明石市立天文科学館), 毛利 勝廣 (名古屋市立大学/名古屋市科学館), 田中 壺 (国立天文台ハワイ観測所), 持田大作 (名古屋市科学館), 臼田-佐藤 功美子, 石井 未来, 松元 理沙 (国立天文台ハワイ観測所), 小嶋智子 (JAXA), 橘省吾 (東京大学), 吉川真 (JAXA), 日本プラネタリウム協議会 100 周年実行委員会

プラネタリウムはドイツのCarl Zeiss社が開発し、ドイツ博物館にて1923年10月に試験公開、1925年5月に常設された。このエピソードにちなみ2023年から25年にかけてプラネタリウム100周年記念事業が世界各地で開催されている。日本国内では日本プラネタリウム協議会(JPA)が100周年記念事業を推進している。2023年10月21日には全国のプラネタリウム館を結んだ一斉イベントを開催し、ドイツからの中継を行うなどの前例のない取り組みを実現した。100周年事業については、プラネタリウム館のみならず、プラネタリウム業界以外の民間企業も参加するなど幅広い事業がおこなわれており、広く一般市民にプラネタリウムを通じて天文学や宇宙開発への関心を高める契機となっている。プラネタリウム100周年と研究機関が連携した事業も実施されている。本公演では連携の例として、(1)カプセル帰還3周年&プラネタリウム100周年記念はやぶさ2拡張ミッション拡大イベント(連携:はやぶさ2の拡張ミッションチーム)(2)小惑星イトカワ・リュウグウダブルサンプル巡回展示(連携:JAXA宇宙科学研究所地球外物質研究グループ、東京大学理学系研究科宇宙惑星科学機構)(3)すばる望遠鏡25周年コラボイベント(連携:国立天文台ハワイ観測所)について報告する。